

エコキャップ運動 活動報告

2021年7月
森永乳業販売株式会社
本社 業務部

2020年2月より、エコキャップ回収運動をデリーフーズビル(本社ビル)にて開始致しました。

◆ 活動の目的

日本企業の、そして森永乳業グループの一員として社会的責任を果たすべく、「従業員の誰もが気軽に参加できる」ことを前提に新たに導入するサステナビリティ活動を検討した結果、エコキャップ運動を開始しました。

弊社はエコキャップ運動を以下のような目的で行っております。

・支援国へワクチンの寄付

回収したキャップをリサイクル会社へ寄付し、そのキャップから製造したリサイクル製品を売却した利益を開発途上国へのワクチン代として寄付していただいております。

・ペットボトルゴミの分別

ペットボトルをリサイクルする際、キャップやラベルなどの異物が少ないほうがより純度の高い資源として再利用することができます。実際に、港区の家庭ごみではペットボトルからキャップとラベルを外してこれらを資源プラスチックとして捨てることになっています。キャップとペットボトル本体を分けて処分することはリサイクルの効率化へ多少なりとも貢献できると考えております。

この取り組みは、森永乳業グループ環境方針の基本方針より、「循環型社会形成に向けて、廃棄物の3R(発生抑制、再使用、再生利用)及び適正処理を推進」することにもつながっていると考えております。

※森永乳業グループの環境方針< <https://www.morinagamilk.co.jp/csr/environment/> >

◆ 回収方法

ビルの各階(1~6階)のゴミ箱横に回収ボックスを設置しました。《下部 写真左参照》
回収ボックスを設置した直後はあまり集まらなかったため、視覚的に目標を共有できるように目標ラインをボックスへ記載しました。

◆ 回収結果

回収期間:2020/2/1~2021/5/7

1階 1袋

2階 3袋

3階 2袋

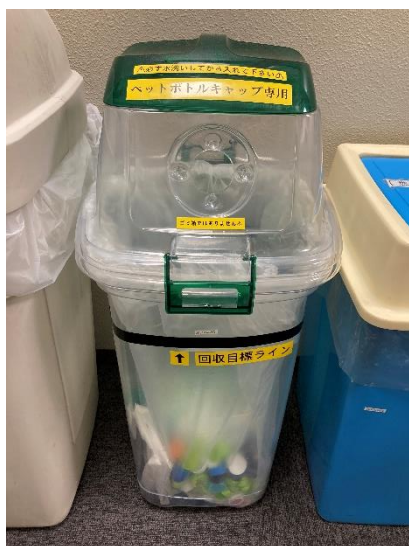
6階 3袋

合計 9袋(90リットルゴミ袋へ7~8分目程)《下部 写真右参照》

重量 40.0kg(約 20,000 個)

=ワクチン 約 20 人分

=CO₂ 126.0kg(キャップをごみとして焼却した場合に想定される発生量)



◆ 今後の目標

・2021年6月~2022年5月の1年間で昨年と同じ40kgのキャップの回収を目標にします。

(ゴミ削減の観点より、キャップの回収量が多ければ多いほど良いということではありませんが、より多くのペットボトルがキャップと分別して処分されることを目指します。)

・ただキャップを集めるだけでなく、社内でのゴミの分別について意識していただくなど、この活動から派生して他の問題へ目を向けるきっかけとなるような活動を行ってまいります。